

◆授業科目の成績評価について

- 通年科目について、科目ごとに、前期・後期に期末試験を行い、原則として後期終了後に成績評価を行う。前期のみ、もしくは後期のみの授業に関しては、期末に試験を行い、その結果を基に成績評価を行う。
- 成績評価表は、年に1度の年度末(3月)に保護者宛てに送付する。
- 成績評価の基準については、科目によって異なるが、出席率、普段の授業態度及び学習意欲、科目終了時の考査・確認テスト、検定がある科目については検定取得状況、提出物を基に行う。検定対策科目については、特に検定結果を重視して評価を行う。科目の具体的な評価についてはそれぞれの授業計画(シラバス)を参照のこと。
- 評価形式は A・B・C・D の4段階で行い、成績表に記載される。
- 成績基準については、次の通りである。
 - A:秀(100-90) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた。
 - B:優 (89-80) 達成目標を十分に達成している。
 - C:良 (79-70) 達成目標を達成している。
 - D:可 (69-60) 達成目標を最低限達成している。
 - F:不可(59-0) 達成目標に達成していない。
- 各科目の出席時間数の80%に満たない場合は学期末試験を受験することができないが、不足した時間数を補講等で補い、課せられた課題を提出することで追試試験を受験することができる。また、追試試験等で合格した科目評価は原則 D 評価となる。
- 期末試験で F 評価であった場合、追試試験を受験することができるが、原則として追試合格については D 評価となる。
- 追試試験等は1科目につき受験料 3,000 円かかり、納入後に追試を受験することができる。
- 追試試験を受験する際には、追試試験料支払い証明書を提示すること。

◆就学状況の認識と成績評価における GPA の算出について

学生は、客観的な成績指標である GPA を基に、学科別クラスにおける自身の就学状況を確認することができます。

GPA の算出方法は以下の通りです。

- A=4、B=3、C=2、D=1とし、各科目の成績評価を数値化する。すべての科目を合計し、科目数で除した数字を基に成績分布図を作成することで、クラス内における学生一人一人の就学状況を把握することができる。
- 年度末の各科成績表に基づいて成績分布図を作成し、下位4分の1の学生については警告を与える。なお、各学科別の成績分布状況については、HP を参照のこと。

◆進級・卒業基準について

《進級条件》

- 1) 1年次の出席が80%以上であること。
- 2) 1「年次の科目評価が全て D 以上であること。
- 3) CFP ポイントが基準である11ポイント以上であること。
- 4) 学費・実習費、その他必要な納入金を全てのうにゆうしていること。
- 5) その他生活行為等において問題がないこと。

《卒業条件》

- 1) 全年次の出席が良好であること。
- 2) 全年次の科目評価が全て D 以上であること。
- 3) 各学科で設定されている卒業基準検定を取得していること。
- 4) CFP ポイント(※1)が基準である 11 ポイント以上であること。
- 5) 学費・実習費、その他必要な納入金をすべて納入していること。
- 6) その他、生活行為等において問題がないこと。

※ 各学科の卒業基準については HP 参照

(※1)CFP ポイントとは College League Fieldwork Program の略称であり、学校教育方針のもと人間力育成の他、積極性、社会性、地域貢献、奉仕の精神を育成するため、学校全体行事、学科行事、学校以外で実施される課外活動、ボランティア活動等に参加することでそれぞれポイントが付与される。必須行事等ポイントの詳細については、学生の手引きを参照のこと。